

ソチパラリンピック閉幕

ソチ 2014 パラリンピック冬季競技大会が 3 月 16 日（日本時間 17 日未明）に閉幕した。3 月 7 日から開かれた大会には日本から 20 人の選手が参加し、メダル 6 個（金 3、銀 1、銅 2）を獲得。前回バンクーバー大会と同じ 11 個を目指して臨んだが、目標に届かなかったものの「金 3 個」の宣言は実行した。

日本選手が参加したのは、全 5 競技あるうちアルペンスキー、クロスカントリー、バイアスロンの 3 競技。特に目立ったのは、アルペンスキー男子座位の活躍ぶりだ。

狩野 亮（マルハン）が滑降とスーパー大回転を制し、冬季大会の日本勢で初めての 2 大会連続の金を獲得。鈴木猛史（駿河台大学職員）は回転で金、滑降で銅を手にした。また主将の森井大輝（富士通セミコンダクター）は前評判通り強さを見せ、スーパー大回転で銀を獲得した。

同じく注目されていた久保恒造（日立ソリューションズ）もバイアスロン男子 7.5 キロ座位で銅。日本勢のメダル第 1 号だった。

今大会は、20 人と少人数ながらベテランから若手

	狩野 亮	アルペンスキー男子滑降座位
金	狩野 亮	アルペンスキー男子スーパー大回転座位
	鈴木猛史	アルペンスキー男子回転座位

銀	森井大輝	アルペンスキー男子スーパー大回転座位
---	------	--------------------

銅	鈴木猛史	アルペンスキー男子滑降座位
	久保恒造	バイアスロン男子 7.5 キロ座位

までいる選手団だったのが特徴。アルペンスキー女子座位では 17 歳の村岡桃佳（埼玉・正智深谷高校）が大回転で 5 位入賞したほか、スキー距離でも高校生 3 人が初出場する明るい話題も。

閉会式で旗手を務めた狩野は、表彰台を日本選手で独占したいという目標は成らなかったが「また切磋琢磨してみんなで強くなりたい。4 年後を見据えてしっかり取り組んでいきたいと改めて思った」と決意を語った。

（福祉新聞・第 2661 号 2014 年 3 月 24 日）